

平成27年度 市長政策室長「政策宣言」達成状況報告

市長政策室長 寺岡伸清

○ 平成27年度重要事業

事業名	射水市版総合戦略の策定
目標	本市が将来にわたって安定した人口構造を構築し、地域社会活力の維持・向上を図るため、いかにして、人口減少を克服するかであり、特に、人口分析で示す県外への流出が多い若い世代の定着が期待できる戦略を検討し、策定します。
年度末達成状況	本市が将来にわたって活力に満ち、市民が夢と希望を持てるよう、昨年10月に「選ばれるまち快適安心居住都市いみず」をキャッチフレーズとした「射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。
自己評価	創生総合戦略では、高等教育機関の集積、子育て支援が充実した住み良いまちであることなど本市が持つ強み生かして、人口減少を最大限抑制する視点が重要であると考えています。

事業名	庁舎跡地利活用事業の推進
目標	庁舎跡地利活用の方向性については、市広報1月号や市長タウンミーティングで周知しました地域の特性を生かした利活用の方向性に沿うよう、具体化を進めます。
年度末達成状況	各庁舎跡地における利活用の方向性については、市広報や市ホームページ等で周知に努めました。また、具体的な内容については、平成28年度予算に計上できるよう協議を進めました。
自己評価	各庁舎跡地の利活用方針については、将来の世代に責任の持てる活用が必要であり、今後とも、市民理解を深めていただくよう努めます。

事業名	協働のまちづくりの推進
目標	地域振興会や市民団体などと、市の役割を明らかにし、共に考え、協力することにより、地域特性を生かした活力ある地域社会の実現を図ります。 特に、市内の各高等教育機関との連携をより一層強化し、学生からのまちづくりの提案や学生間の交流を活発にしていくことで、若者の新しい発想を生かしたまちづくりにも取り組みます。
年度末達成状況	地域振興会及び市民団体と連携・協力を努め、市民協働事業の実施など引き続き協働のまちづくりを推進してきました。 昨年8月、学生による政策提案審査会を開催し、学生目線から提案をいただきました。
自己評価	市民協働のまちづくりは、概ね順調に進んでいますが、今後は地域だけでなく、NPO法人等市民団体や高等教育機関との協働にも積極的に取り組み、射水市ならではの協働のまちづくりにつな

	げてまいります。
--	----------